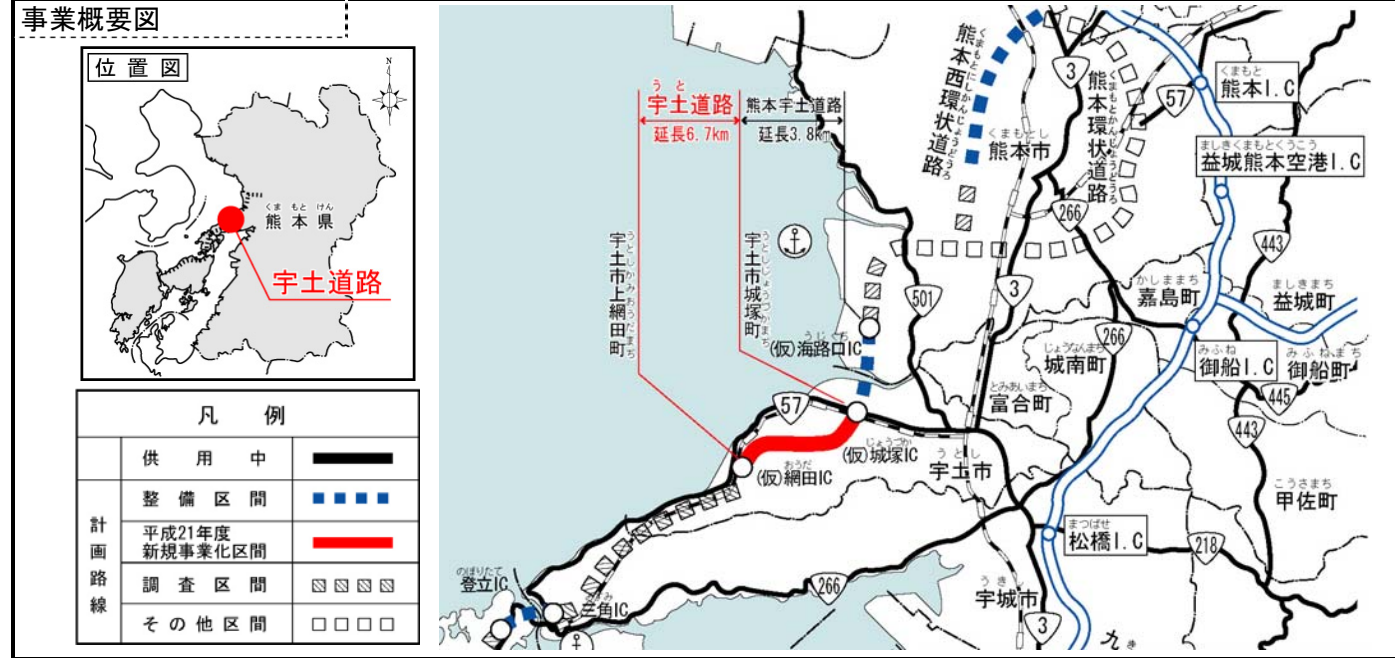


新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業の概要

事業名	地域高規格道路 熊本天草幹線道路 一般国道57号 宇土道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：熊本県宇土市城塚町 至：熊本県宇土市上網田町	延長	6.7km		
事業概要	<p>一般国道57号は大分市を起点とし、熊本県央地域及び島原半島を經由し長崎市に至る延長約260kmの主要幹線道路である。</p> <p>地域高規格道路である宇土道路は、一般国道57号における特殊通行規制区間（越波、延長4km）の回避、交通事故低減及び国道に並走しているJR三角線の踏切による交通混雑の緩和を目的とした熊本県宇土市城塚町から熊本県宇土市上網田町を結ぶ延長約6.7kmの自動車専用道路である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>宇土道路は、一般国道57号における特殊通行規制区間（越波、延長4km）を回避するとともに、JR三角線が併走し15箇所の踏切交差点による走行速度の低下に伴う交通混雑の緩和や多発する交通事故の低減を図ることを目的とする。</p> <p>また、熊本天草幹線道路としての一部を構成する本道路は、地域間の交流連携を促進して天草半島の暮らしや経済の発展に資するとともに、天草島しょ部から3次医療施設のある熊本市内への時間短縮が図られる事から住民の安心・安全の向上が期待される。</p>				
全体事業費	257億円		計画交通量	14,500台/日	



**関係する地方公共団体等の意見**

熊本・天草間幹線道路整備促進期成会(会長：熊本市長)及び熊本・天草幹線道路整備促進協議会(会長：本渡商工会議所会頭)により、国土交通省、九州地方整備局に対し、毎年2回程度の整備促進要望を受けている。

**事業採択の前提条件**

便益が費用を上回っている。  
沿線自治体の要望もあり、円滑な事業執行環境が整っている。地元との意見交換会(PI)実施済み。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用: 192億円 (事業費: 181億円 維持管理費: 11億円)	総便益: 312億円 (走行時間短縮便益: 225億円 走行経費減少便益: 55億円 交通事故減少便益: 33億円)	基準年: 平成20年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.5 (交通量 -10%)	B/C=1.8 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.5 (事業費 +10%)	B/C=1.8 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C=1.5 (事業期間 +20%)	B/C=1.6 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	踏切交差点での速度低下による損失時間の削減が見込まれる。(約4割削減) 【渋滞損失時間の改善】並行区間: 約37.4万人時間/年(H19現況) (H17セブス区間No.1047,1048) 削減量: 約15.8万人時間/年(約37.4人時間/年→21.6万人時間/年) 【1kmあたり渋滞損失時間】並行区間: 約5.4万人時間/km年(H19現況) [熊本県平均: 約1.2万人時間/km年(約4.5倍)] 【その他の特徴】国道57号とJR三角線が併走しており、従道路との交差点15箇所が踏切交差点となっており、出入り交通による速度低下が頻繁に発生している。		
		事故対策	○	死傷事故率300件/億台キロ以上の現道問題箇所1箇所を回避し、交通の安全性が向上する。 【死傷事故率: H15~H18平均値】 単路部: 最大値135件/億台キロ(現況)[熊本県平均比: 約2.9倍] 交差点部: 最大値342件/億台キロ(現況)[熊本県平均比: 約4.7倍] [熊本県平均 単路部: 46.5件/億台キロ 交差点部: 73.4件/億台キロ]		
	社会全体への影響	歩行空間	-			
		住民生活	○	交通混雑の緩和により、地域住民の円滑な移動が確保できる。		
		地域経済	○	宇土道路の整備により、宇土市、天草地域から重要港湾「熊本港」への所要時間短縮、アクセス強化が図られる。また、年間観光客数415万人の天草地域へのアクセス性が向上し、観光アクセス道路としての機能が強化され、観光産業を支援する。		
災害		◎	宇土道路に並行する国道57号に存在する特殊通行規制区間(越波、延長4km)を回避。交通規制時の交通機能を確保。			
	環境	○	宇土市街地[人口約3.8万人]を通過する道路で、現況72dB(昼間)、67dB(夜間)の騒音であり、当事業によって沿道環境が改善される。昼間72dB⇒70dB、夜間67dB⇒60dB			
	地域社会	○	主要な観光地へのアクセス向上(主要な観光地である天草地域[観光入込客数415万人]のアクセスが向上する。 第3次救急医療施設へのアクセス性が向上するとともに、患者への負担軽減が図られる。			
事業実施環境	○	熊本・天草間幹線道路整備促進期成会及び熊本・天草幹線道路整備促進協議会から積極的な要望活動が行われており、地元の期待も大きい。				

採択の理由

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
この道路整備により、特殊通行規制区間に対する代替路が確保され、安全性・信頼性が向上するとともに、交通の効率的な誘導を行うことで、死傷事故率の低減、交通混雑の緩和が期待され、その整備効果は高いものと判断される。  
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。